



是ち平朝臣に仕へ申さしむるに
 此亦中宮御座れば祈りて為す非常
 の文教行り給ふに由り國に流人
 赦免あり給ふも鬼島へ嶋の住人
 のより丹波に少将をりつ子平判官
 康頼二人赦免の河はを及某に侍て
 いるる今鬼島へ嶋へといふ
 神所

二人の第一

心こころりふりふのの始はじめるるまま及及びくく終しまるるのの
山やまああききををここれれちち九く利りののままりり
ききうういいりり鳩とれれ信しん人にんのの中ちゆう丹たん波はのの少せうめめ
成なり短たん平へい刺し官くわん入いちち康かう教きやう二に人にんのの果くわい少せうをを
あありり我われおお都とははるる一いつ時とき慈じ野の恭こう福ふく三さん十じゅう
三さん度たふ乃なりああねね三さんととななここししとと立た願げんせせしし
ままははななううててみみもも教きやうををううてておおののたたをを流りゅう

のの文ぶんととああきき及及び前ぜん終しゆうももむむるる一いつくくままわわ
ゆゆららぬぬせせりりててのの事こと乃なり終しゆうままりり也なり始はじめ
おお三さん慈じ野のをを勸くわん法ぽう中ちゆう宣せん古こよよんんののろろ平へい
のの九く十じゅう九く前ぜん乃なり五ご子し也なり一いつととくくとと
順じゆん礼れいれれ神しん路ろ子しぬぬささ我われ指しけけるる一いつととくく
ととややてて印いん一いつととやや井いとと三さん慈じ野のれれくく
れれををままりりししいいととななままるる麻あ衣いのの

のゝら... せし... せし... せし... せし...

水... 水... 水... 水... 水...

と... 事... 事... 事... 事...

砥... 湯... 湯... 湯... 湯...

ち... 理... 理... 理... 理...

所... 山... 山... 山... 山...

と... 海... 海... 海... 海...

上...

竹... 竹... 竹... 竹... 竹...

れ... 産... 産... 産... 産...

花... 菊... 菊... 菊... 菊...

心... ち... ち... ち... ち...

夏... 夏... 夏... 夏... 夏...

草... 木... 木... 木... 木...

あ... ぎ... ぎ... ぎ... ぎ...

「アラスカ」は法勝寺法成寺に
在見城のまればどまいのけり
えくえん衰滅ふのなる終やおけり
の敷たけりけりけりけりけり
がけりけりけりけりけり
けりけりけりけりけりけり
限と成けきまやむの心よるま

^物 追手の月ふるにやいやいむ
しよは鳩よあつたれ人の心
都ふの教免状を持つ事りてい
法清見し^{三行} あつる罪やいぢく康
免^ヤとくまふく中宮はす
祈の爲に非言れ大教行ハあり
とり國の流人教免あり甲し

鬼界、鳩れ信人のうら、成理康頼二
人教地もるる前也ニテ 何とて後宥を
きふたおとく終ふる中ハスヨリ 成必多しり
一と教地伏れ面と成覺作人ニテ 扱ハ
笔名のあやまりと云ふ、りや某
初とく承いも康頼成短二人と云は
中後宥一人を及は鳩り一物一中せ

と云ふ河のささるニテ こそと云ふ罪と云
罪配所もおとす配所非考もたぢ
大教たつ子びとと云らうい乃あま
とれて院三とてあしこと及びま
ト名キ一
は程ハ三人一前アあるつれつに
ごもむう河く冷まきあつ磯端
子唯いとまもるれて邊のまを草の

浪の原ののよへもなきて
まじり清静の款にのみも
さし子鳥なくりらがる
下各 何を感じて花も咲けり
とくは心ふりこりせ
とよりては鳩も鬼界の鳩と
あまの鬼方前にくし生よるの
可達

あるだといひる鬼域とけ
るもの知る天地を動し鬼神
も感ずるもの人乃あまなり
おと此鳩の多黙と鳴ハ我を
らしをりてあまのあまも
に讀むる巻物と又いふ
法と語りてくみれとく

たぐ成経康頼とがりたるその名を
るまぢあもりも礼紙子やあけりし
やまのこましてこれ僧都も後寛
たのふた又字ハさるにさるハ夏
の相もまきり及さめ又くとうわ
る即後寛ハあまの海をさるるこま長
さるけり時刻より月々叶ふま

成経康頼二人ハ早波のりよるまきり
とまかくてまらるる事ありけり
余前の款事をさるまきり二人も舟
まのらしやけり僧都も舟にれり
とて康頼の杖よれけりハ僧都ハ
おまのまきりまきりあきあき
りけりまきりまきり

乃私と云ふのありき勢りぐる向に
の地まぐる情のそてい
勢早業九二情も志しぬ母子をろりいと
かりあけいとせと早業九二し次
命れらるふ又立り出さの
ともはあはるけいにまをた
私ともほるあしきけて母よふ

早業

みし押りしききしあはれ
らにあらるあはれあり勢りぐる
とるふ私といへやのそまぬ
力及寸後寛る女の備り
かりて松浦さ又娘もあゆふ
まことと勢もあし守る又病に
いりりの流事やぶる勢り上

え上

